

神経内科：CVA、頭部外傷

44-065 脳卒中患者の摂食・嚥下障害で誤っているのはどれか。

1. 急性期に高頻度にみられる。
2. 体位調節は誤嚥防止に役立つ。
3. 仮性球麻痺があると生じやすい。
4. 水はペーストよりも誤嚥しやすい。
5. 右側の咽頭麻痺では顔を左に向けて食べさせる。

45-A-084 一側性的大脑損傷による顔面神経麻痺で障害をきたすのはどれか。2つ選べ。

1. 前頭筋
2. 眼輪筋
3. 口輪筋
4. 側頭筋
5. 咬筋

45-A-091 右延髄外側の脳梗塞で認められるのはどれか。

1. 右顔面の温痛覚障害
2. 右顔面神経麻痺
3. 右上斜筋麻痺
4. 右片麻痺
5. 左小脳性運動失調

46-A-061 頭蓋内圧亢進でみられない症状はどれか。

1. 頭痛
2. 嘔気
3. 頻脈
4. 血圧上昇
5. うっ血乳頭

46-A-089 外傷性脳損傷後にみられやすい症状はどれか。

1. 運動失語
2. 着衣失行
3. 相貌失認
4. 全般性注意障害
5. 左半側空間無視

46-A-095 嚥下障害に対する治療法はどれか。

1. Shaker (シャキア) 法
2. DeLorme (デローム) 法
3. Jakobson (ヤコブソン) 法
4. Codman (コッドマン) 体操
5. Buerger-Allen (バージャー・アレン) 体操

46-P-083 視床症候群の症候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. めまい
2. 重度片麻痺
3. 体温の上昇
4. 激しい自発痛
5. 深部感覚障害

46-P-087 Wallenberg 症候群を起こす病態で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 橋出血
2. ラクナ梗塞
3. 脳動静脈奇形
4. 脳底動脈解離
5. 内頸動脈閉塞症

47-A-064 障害を受けた場合に右同名半盲を生じ得る部位はどれか。2つ選べ。

1. 右視神経
2. 左外側膝状体
3. 右内側膝状体
4. 左視放線
5. 右後頭葉

47-P-077 頭部 CT を示す。所見として考えられるのはどれか。

1. 脳梗塞
2. 被殻出血
3. 尾状核出血
4. くも膜下出血
5. 頭頂葉皮質下出血

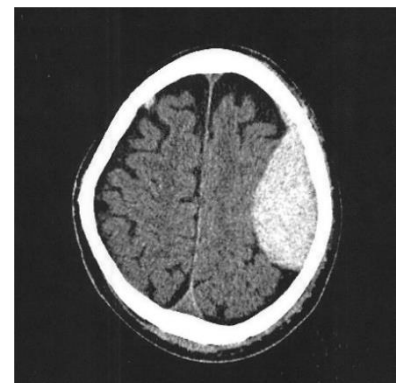


47-P-088 心原性脳塞栓症の原因として最も多い不整脈はどれか。

1. 心室性期外収縮
2. 上室性期外収縮
3. 房室ブロック
4. 心房細動
5. 洞性徐脈

49-A-090 頭部 CT を示す。所見として考えられるのはどれか。

1. 硬膜外血腫
2. 硬膜下血腫
3. 皮質下出血
4. くも膜下出血
5. 脳動静脈奇形

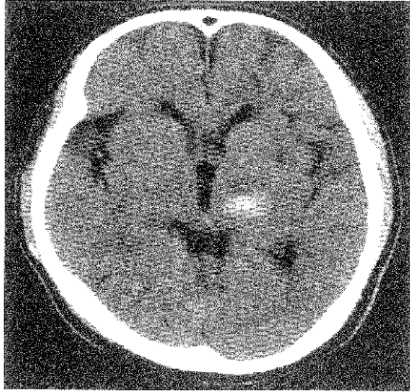


49-P-095 嚥下障害の病態と用いられる介入の組合せで正しいのはどれか。

1. 口腔期障害——粘性の高い食物
2. 鼻咽腔閉鎖不全——Shaker(シャキア)法
3. 喉頭挙上筋筋力低下——間欠的バルーン拡張法
4. 咽頭機能の左右差——頸部回旋
5. 輪状咽頭筋弛緩不全——軟口蓋挙上装置

50-P-077 頭部 CT を示す。出血部位はどれか。

1. 頭頂葉皮質下
2. 放線冠
3. 被殻
4. 視床
5. 橋

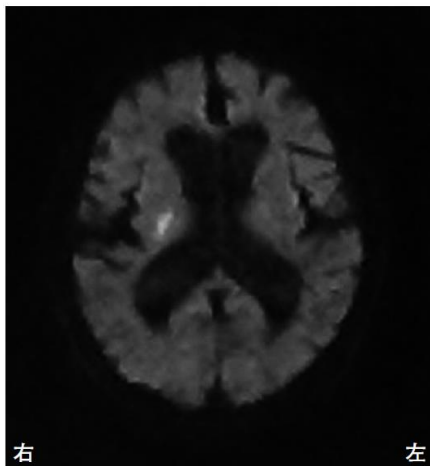


50-P-084 出血部位と出現しやすい症候の組合せで正しいのはどれか。

1. 被殻——作話
2. 皮質下——複視
3. 視床——注意障害
4. 小脳——反響言語
5. 橋——半側空間無視

51-A-094 突然の左不全片麻痺を呈して搬送された患者の発症後記時間の頭部 MRI の拡散強調像を示す。最も考えられるのはどれか。

1. 脳出血
2. 脳梗塞
3. 脳腫瘍
4. 脳動静脈瘻
5. くも膜下出血



51-P-088 右後下小脳動脈の閉塞で発症した脳梗塞でみられないのはどれか。

1. 右片麻痺
2. 右眼瞼下垂
3. 右小脳性運動失調
4. 右顔面温痛覚障害
5. 左上下肢温痛覚障害

51-P-099 特発性正常圧水頭症で誤っているのはどれか。

1. 脳室拡大がみられる。
2. 小刻み歩行がみられる。
3. 自発性の低下がみられる。
4. 髄液で細胞増加がみられる。
5. 腰椎-腹腔シャント術が用いられる。

52-A-088 脳血管障害について誤っているのはどれか。

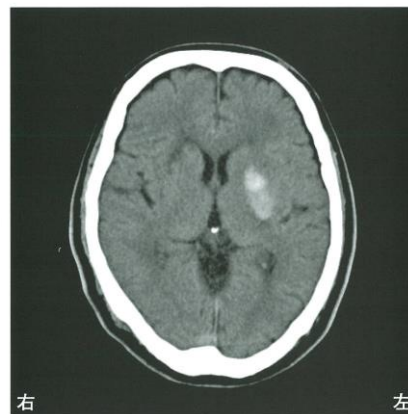
1. 高血圧は脳出血の危険因子である。
2. くも膜下出血は女性よりも男性に多い。
3. 発作性心房細動は脳塞栓の危険因子である。
4. 癌に付随する凝固異常は脳塞栓の原因となる。
5. 慢性腎臓病 (CKD) は脳卒中の危険因子である。

52-P-076 突然の右不全片麻痺を呈して搬送された患者の発症後 6 時間の頭部 CT を示す。

最も考えられるのはどれか。

1. 視床出血
2. 被殻出血
3. 皮質下梗塞
4. くも膜下出血
5. 慢性硬膜下出血

No. 5 (P 問題 76)

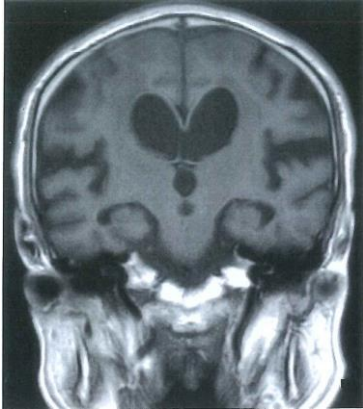


52-P-084 摂食嚥下障害への対応で正しいのはどれか。

1. 飲水にはぬるま湯を用いる。
2. 咽頭期障害では頭頸部伸展姿勢で嚥下する。
3. 口腔期障害に対して高粘度の食物を用いる。
4. 先行期障害に対して食事のペースを指導する。
5. 鼻咽腔閉鎖不全に対しては Shaker 法を用いる。

53-A-076 歩行障害がある患者の頭部 MRI の T1 強調冠状断像を示す。腰椎穿刺を行い髄液を排出させたとこ、歩行障害が改善した。最も考えられるのはどれか。

1. Parkinson 病
2. 正常圧水頭症
3. 脳梗塞
4. 脳出血
5. 慢性硬膜下血腫



53-P-087 脳卒中後の肩手症候群について正しいのはどれか。

1. 運動麻痺重症例よりも軽症例に多い。
2. 女性の発症率は男性の約 2 倍である。
3. 脳卒中発症後 6 か月以降に生じる。
4. 発症頻度は 40% 程度である。
5. 複合性局所疼痛症候群 type I に分類される。

54-A-084 失行の検査でないのはどれか。

1. お茶を入れてもらう。
2. 金槌で釘を打ってもらう。
3. 日常物品の名前を答えてもらう。
4. 「おいでおいで」の動作をしてもらう。
5. 歯ブラシを持ったつもりで歯を磨くまねをしてもらう。

54-A-089 脳血管障害に対して行われる検査で、誤っているのはどれか。

1. 頸動脈狭窄の検索に頸部 MRA が用いられる。
2. 出血病変の検索に MRI の T2\*(スター)強調像が用いられる。
3. 陳旧性梗塞の検索に MRI の拡散強調像が用いられる。
4. 脳塞栓の原因検索に Holter 心電図が用いられる。
5. 脳動脈瘤の検索に脳血管撮影が用いられる。

54-P-077 急性期のくも膜下出血の診断に最も有用なのはどれか。

1. MRIT1 強調像
2. MRIT2 強調像
3. 頸動脈超音波像
4. 単純 CT 像
5. 単純エックス線写真

### 神経内科：高次脳機能障害

45-A-090 優位半球損傷に特徴的な症状はどれか。

1. 検者が示した指先への注視運動が出来ずに視点も定まらない。
2. 損傷した脳の反対側から呼びかけても顔面を向けられない。
3. 検者が出したジャンケンのチョコキの模倣動作ができない。
4. 裏返しになった衣服を正しく着ることができない。
5. 閉眼したまま提舌を 20 秒以上持続できない。

48-A-063 Gerstmann 症候群の病巣として正しいのはどれか。

1. 上側頭回
2. 中心前回
3. 舌状回
4. 帯状回
5. 角回

50-A-084 頭頂葉の病変で生じる症候はどれか。

1. 歩行失行
2. 視覚失認
3. Anton 症状
4. Parkinson 症状
5. Gerstmann 症候群

51-A-083 Gerstmann 症候群に認められるのはどれか。

1. 健忘
2. 失算
3. 失構音
4. 遂行機能障害
5. 半側空間無視

52-A-084 観念運動失行の検査はどれか。

1. 「今、何時ですか」
2. 「右手の薬指はどれですか」
3. 「歯を磨くまねをしてください」
4. 「紙を折って封筒に入れてください」
5. 「このカードに描いてある絵を覚えてください」

53-P-082 失語症分類と特徴の組合せで正しいのはどれか。

	失語症	流暢性	理解
1.	Broca 失語	非流暢	軽～中等度の障害
2.	Wernicke 失語	流暢	良好
3.	健忘失語	非流暢	良好
4.	超皮質性運動失語	流暢	重度の障害
5.	伝導失語	非流暢	中度～重度の障害

**神経内科：パーキンソン病**

45-A-092 Parkinson 病で認められるのはどれか。

2つ選べ。

1. 反張膝
2. 前傾姿勢
3. 突進歩行
4. 大殿筋歩行
5. はさみ足歩行

49-A-084 抗 Parkinson 病薬の長期投与によって生じうる症状として誤っているのはどれか。

1. 高血圧
2. on-off 現象
3. 精神症状の出現
4. Wearing-off 現象
5. 不随意運動の増強

49-P-089 Parkinson 病の症状、徴候について正しいのはどれか。

1. 企図振戦
2. アトーゼ
3. Myerson 徴候
4. ミオクロニー発作
5. 折りたたみナイフ現象

53-P-088 Parkinson 病について正しいのはどれか。

1. 喫煙者に多い。
2. 再発と寛解とを繰り返す。
3. 孤発性症例が家族性症例より多い。
4. 30～40 歳代での発症が最多である。
5. 我が国の有病率は Alzheimer 病より多い。

54-A-090 Parkinson 病でみられないのはどれか。

1. 便秘
2. 運動失調
3. 動作緩慢
4. 静止時振戦
5. レム睡眠行動障害

**神経内科：ギランバレー症候群**

46-P-090 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 罹患した部位に痙縮がみられる。
2. ウィルス感染が先行することが多い。
3. 軸索変性型は脱髄型よりも予後が良い。
4. 蛋白が高値で細胞増加がない髄液所見を伴う。
5. 症状は数か月かけて徐々に進行することが多い。

50-A-093 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 顔面神経麻痺から発症する。
2. 髄液中の蛋白が上昇する。
3. 自律神経障害はみられない。
4. 呼吸筋麻痺はみられない。
5. 再発と寛解とを繰り返す。

51-P-089 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 高頻度に再発する。
2. 痙性麻痺が中核症状である。
3. 運動麻痺は一側性に進行する。
4. 髄液に異常所見が認められる。
5. ステロイドパルス療法が有効である。

53-A-090 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 50%以上で再発する。
2. 脱髄型と軸索型がある。
3. アルコール多飲が原因である。
4. ビタミン B1 欠乏によっておこる。
5. 歩行可能まで回復する症例は 25%以下である。

**神経内科：多発性硬化症**

43-064 多発性硬化症に特徴的な痛みはどれか。2つ選べ。

1. テタニー様痙攣に伴って生じる四肢の放散痛
2. 頭部前屈に伴って生じる背部下方への電撃痛
3. 食後に生じる胸背部鈍痛
4. 上肢と手指の発赤を伴った疼痛
5. 歩行を困難にするしびれを伴う下肢の疼痛

47-A-089 脊髄小脳変性症にみられにくく、多発性硬化症に特徴的なのはどれか。

1. 痙縮
2. 運動失調
3. 嚥下障害
4. 構音障害
5. 有痛性痙攣

47-P-089 多発性硬化症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 男性に多い。
2. 発症は 50 歳代に多い。
3. 脱髄病変がみられる。
4. 視力低下が出現する頻度が高い。
5. 運動負荷に制限を設ける必要はない。

52-A-090 多発性硬化症について正しいのはどれか。

1. 女性よりも男性に多い。
2. 再発と寛解を繰り返す。
3. 発症は 50 歳以上が多い。
4. 後遺障害を残すことは稀である。
5. 白色人種に比べて黄色人種に多い。

### 神経内科：筋萎縮性側索硬化症

44-076 筋萎縮性側索硬化症でみられないのはどれか。

1. 舌の線維束攣縮
2. 流涎
3. 肺活量低下
4. 深部感覚障害
5. 歩行障害

50-P-093 筋萎縮性側索硬化症にみられるのはどれか。

1. 筋固縮
2. 痛覚脱失
3. 測定異常
4. 線維束攣縮
5. 筋の仮性肥大

### 神経内科：重症筋無力症

48-A-090 重症筋無力症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 筋電図検査において末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
2. 抗アセチルコリン受容体抗体陽性率は10%である。
3. 症状の日内変動がある。
4. 嚥下障害の合併はない。
5. 眼瞼下垂がみられる。

49-A-089 重症筋無力症で正しいのはどれか。

1. 女性より男性に多く発症する。
2. 四肢では遠位筋の筋力低下が起きやすい。
3. 夕方にかけて症状は軽快する。
4. 末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
5. コリンエステラーゼ阻害薬が用いられる。

52-P-088 重症筋無力症について正しいのはどれか。

1. 起床時に症状が強い。
2. 悪性腫瘍の合併が多い。
3. 自己免疫性疾患である。
4. 女性よりも男性に多い。
5. 40歳以前の発症は稀である。

54-P-091 重症筋無力症で正しいのはどれか。

1. 胸腺の異常を伴うことが多い。
2. Parkinson病より患者数が多い。
3. テンシロン試験で症状が悪化する。
4. 血清クレアチンキナーゼが上昇する。
5. 誘発筋電図の反復刺激試験で振幅の漸増を認める。

### 神経内科：運動ニューロン疾患

44-082 深部腱反射の亢進がみられるのはどれか。2つ選べ。

1. 重症筋無力症
2. 多発性硬化症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 筋強直性ジストロフィー
5. Duchenne型筋ジストロフィー

45-P-083 痙縮が出現するのはどれか。

1. 多発筋炎
2. 多発性硬化症
3. 腕神経叢麻痺
4. 急性灰白髄炎（ポリオ）
5. Guillain-Barré症候群

46-P-095 上位運動ニューロンの障害でみられる症状はどれか。2つ選べ。

1. 振戦
2. 痙縮
3. 腱反射消失
4. 筋線維束攣縮
5. 病的反射陽性

50-A-087 痙縮を生じにくい疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 外傷性脳損傷
3. 中心性頸髄損傷
4. 胸椎黄色靭帯骨化症
5. 腰椎椎間板ヘルニア

### 神経内科：筋疾患

44-088 Duchenne型筋ジストロフィーで頻度が低いのはどれか。

1. 兄弟発症
2. 呼吸不全
3. 心機能障害
4. 胸腰椎の変形
5. 脳萎縮

45-P-084 筋疾患で正しいのはどれか。

1. Duchenne型ジストロフィーは中枢神経系形態異常を伴う。
2. Becker型ジストロフィーは5歳までに発症する。
3. 顔面肩甲型ジストロフィーは腰臀部の筋から発症する。
4. 筋強直性ジストロフィーはミオトニアがみられる。
5. 肢帯型ジストロフィーはミオパシー顔貌がみられる。

46-A-091 皮膚筋炎で誤っているのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 四肢近位筋の筋力が低下する。
3. 赤沈が亢進する。
4. 血中 CK 値が低下する。
5. 悪性腫瘍を高率に合併する。

47-A-091 Duchenne 型筋ジストロフィーについて正しいのはどれか。

1. 横隔神経麻痺を生じる。
2. 閉塞性換気障害を生じる。
3. 側弯症は呼吸機能に影響しない。
4. 呼吸障害では PaCO<sub>2</sub> が上昇する。
5. 呼吸不全は 5 歳以下から生じることが多い。

48-P-082 Duchenne 型筋ジストロフィーについて、厚生省筋萎縮研究班の機能障害度分類によるステージとリハビリテーションの内容の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. ステージ 2—下腿三頭筋のストレッチ
2. ステージ 3—下肢装具による歩行訓練
3. ステージ 4—非侵襲的陽圧換気療法の開始
4. ステージ 5—中殿筋の最大抵抗運動
5. ステージ 6—座位保持装置による脊柱変形の予防

50-A-092 筋強直性ジストロフィーにみられるのはどれか。2 つ選べ。

1. 痙縮
2. 下垂足
3. 斧状顔貌
4. ジストニア
5. 有痛性けいれん

50-P-092 Duchenne 型筋ジストロフィーの特徴で正しいのはどれか。

1. 下肢筋力が上肢筋力より早く低下する。
2. 出生時から筋緊張低下がみられる。
3. 15～20 歳で歩行不能となる。
4. 常染色体劣性遺伝である。
5. ミオトニア現象を認める。

51-A-090 福山型筋ジストロフィーについて正しいのはどれか。

1. 男児のみに発症する。
2. 初発症状は 3 歳前後でみられる。
3. 精神遅滞は Duchenne 型に比べて少ない。
4. 発症頻度は Duchenne 型に比べて少ない。
5. 15 歳以降も歩行が可能であることが多い。

52-A-089 平均的な発症年齢が最も低いのはどれか。

1. 筋強直性ジストロフィー
2. 福山型筋ジストロフィー
3. Becker 型筋ジストロフィー
4. Duchenne 型筋ジストロフィー
5. 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー

53-A-091 Duchenne 型筋ジストロフィーの呼吸障害について正しいのはどれか。

1. 咳をする力は保たれる。
2. 口すぼめ呼吸が有効である。
3. 側弯症は呼吸機能に影響しない。
4. 動脈血二酸化炭素分圧が上昇する。
5. 呼吸不全は 5 歳以下から生じることが多い。

53-P-089 皮膚筋炎について正しいのはどれか。

1. 先行感染を伴う。
2. 悪性腫瘍を伴う。
3. 胸腺腫を合併する。
4. 嚥下障害はきたさない。
5. 遠位筋優位の筋力低下をきたす。

神経内科：ボツリヌス治療

46-P-077 痙縮の治療においてボツリヌス毒素の作用部位はどれか。

1. 脊髄後根神経節
2. 脊髄前角
3. 脊髄前根
4. 運動神経終末
5. 筋小胞体

47-A-078 ボツリヌス毒素を用いた治療で、効果の一般的な持続期間はどれか。

1. 1～3 日
2. 1～3 週間
3. 3～6 か月
4. 1～3 年
5. 10 年以上

48-A-087 ボツリヌス毒素を用いた治療で正しいのはどれか。

1. ボツリヌス毒素は前角細胞に作用する。
2. 痙縮のある筋に対して筋肉注射を行う。
3. 65 歳以上の高齢者には禁忌である。
4. 注射直後から最大効果を認める。
5. 効果持続は約 1 年間である。

50-A-078 ボツリヌス菌毒素製剤の作用機序について正しいのはどれか。

1. 末梢神経の破壊
2. ミトコンドリアの ATP 産生停止
3. アクチンとミオシン頭部の結合抑制
4. 抗アセチルコリン受容体抗体の産生
5. 神経終末部でのアセチルコリン分泌抑制

## 神経内科：その他

40-049 病変部位で誤っている組合せはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症———脊髄前角
2. 急性灰白髄炎（ポリオ）———脊髄後角
3. パーキンソン病———中脳黒質
4. ハンチントン病———線条体
5. アルツハイマー病———大脳皮質

41-052 遺伝性疾患でないのはどれか。

1. ハンチントン舞踏病
2. デュシェンヌ型筋ジストロフィー
3. 筋緊張性ジストロフィー
4. クロイツフェルト・ヤコブ病
5. マルフアン症候群

43-077 女性に多いのはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 晩発性小脳皮質萎縮症
3. Alzheimer 病
4. 進行性核上性麻痺
5. Parkinson 病

44-083 運動失調がみられるのはどれか。

1. 辺縁系脳炎
2. Parkinson 病
3. 周期性四肢麻痺
4. Wallenberg 症候群
5. Lambert-Eaton 症候群

45-P-90 神経筋接合部の障害が病態の中心である疾患はどれか。

1. ボツリヌス中毒症
2. 筋萎縮性側索硬化症
3. 急性散在性脳脊髄炎
4. Guillain-Barré 症候群
5. Charcot-Marie-Tooth 病

47-A-083 発症早期の多系統萎縮症で頻度が低いのはどれか。

1. 認知症
2. 尿失禁
3. 動作緩慢
4. 起立性低血圧
5. 姿勢反射障害

52-A-091 中枢神経の先天奇形とその特徴の組合せで正しいのはどれか。

1. 小頭症———脳圧亢進
2. 滑脳症———脳溝増加
3. 二分脊椎———水頭症合併
4. Dandy-Walker 症候群———後頭蓋縮小
5. Arnold-Chiari 奇形———脊髄の頭蓋内嵌入

48-A-089 感覚障害を合併するのはどれか。2 つ選べ。

1. 多発性硬化症
2. 重症筋無力症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 肢帯型筋ジストロフィー
5. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

52-P-087 家族性が孤発性よりも多いのはどれか。

1. Parkinson 病
2. 多系統萎縮症
3. Huntington 病
4. Lewy 小体型認知症
5. 筋萎縮性側索硬化症

54-A-091 下肢の末梢神経伝導検査で複数の神経に運動神経伝導速度低下を認めた。最も考えられる疾患はどれか。

1. 多発性筋炎
2. 視神経脊髄炎
3. 閉塞性動脈硬化症
4. 筋萎縮性側索硬化症
5. Guillain-Barré 症候群